

携帯電話の紛失にご注意ください！

募集人が携帯電話を紛失する事例が発生しています。

携帯電話に、お客さまの連絡先等の情報が保管されている場合、紛失が顧客情報の漏えいにつながることを認識し、注意して取り扱しましょう。

実際に起こった事例

事例1

携帯電話を上着のポケットに入れ、バイクに乗っていたところ、どこかで落としてしまった。

事例2

出先からタクシーを利用し帰宅したところ、携帯電話をタクシー内に置き忘れてしまった。

事例3

出先でトイレに携帯電話を置き忘れた。すぐに気付いて戻ったが見当たらなかった。



携帯電話紛失が漏えいにつながることを認識し、注意して取り扱しましょう。

漏えい防止のために

- 携帯電話のパスワードロック機能を利用する。
- お客さまの情報は、電話番号以外の不要な情報は極力登録しない。
- お客さまの名前は、（フルネームでなく）姓のみで登録する。

携帯紛失防止のために

- ネックストラップで首から下げる。
またはクリップで衣服に固定する等、体から離れないようにする。
- バッグ等に入れる際は、ファスナー付きのポケットに入れる等落とさないよう工夫する。

もしも……

紛失した場合の対処

迅速に！

- 携帯電話会社へ連絡し、端末内データの遠隔消去（又はロック）を依頼する。
⇒紛失時に利用できる携帯電話会社のサービスの利用方法、連絡先等を事前に確認しておく
- 速やかに警察へ届け出る。



SOMPOひまわり生命

モバイル端末の取り扱いに注意！

ペーパーレス申込手続きの導入や、代理店での業務用PCの貸与等により、モバイル端末（タブレット型端末や業務用PC等）を利用、携帯する機会が増えています。これらは持ち運びが可能で便利なものですが、紛失・盗難等により大量の顧客情報漏えいが発生するリスクが高く、取り扱いには十分な注意が必要です。

実際の漏えい事例

事例1

翌日立ち寄りのため、社有車を自宅近くのコインパーキングに停めていたが、業務用PCの入ったカバンを車内に置いて帰宅したところ、車上荒らしに遭った。

事例2

銀行ATMで振込先確認のため、タブレット型端末を使用していたが、ATM上に置き忘れ、所在不明となった。



紛失、盗難を防ぐために

- ◆モバイル端末は肌身離さず携行する。
（端末の入ったカバン等を電車の網棚等に置かない。）
- ◆たとえ短時間であっても車の中に放置しない。



万一の場合、被害を最小限に抑えるために

- ◆第三者が利用できないようモバイル端末にパスワードを設定する。
- ◆タブレット型端末内、アプリ内には顧客情報を保存しない。
- ◆業務用PCは顧客情報ファイルに暗号化やパスワードの設定を行う。

紛失や盗難に気づいたら・・・

- ◆すみやかに警察に届け出る。
- ◆保険会社にも報告する。



SOMPOひまわり生命